

こしがや能

# 春の調べ

平成三十一年

※雨天決行 (荒天時は中止にする)  
場合がござります)

四月二十九日(月・祝)

午後一時三十分

開場

午後二時

開演

会場 越谷市日本文化伝承の館  
こしがや能楽堂



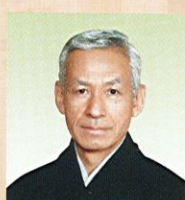
能「高砂」より (撮影：前島久男)



三宅 近成



大日方 寛



高梨 良一



関根 知孝

おはなし 高梨良一  
舞囃子 吉野天人  
狂言 墨塗 高梨良一  
能 高砂 関根知孝  
三宅近成  
大日方寛

料金 一般 3,000円 学生 1,500円 (全席自由席・消費税込)

※能楽堂友の会会員・サンシティメンバーズ10%割引  
※団体でご購入の場合は割引がござりますので、お問合せください。  
※未就学児童の入場はお断り申し上げます。  
※前売券は250枚販売。当日券は100枚販売予定。  
(当日券は天候により販売を中止する場合がございます。)



無料 50名様 ※要予約 (先着順)  
越谷市茶道協会 添釜  
茶席のご案内

12時30分～13時10分  
1部 12:30～12:50 (25名)  
2部 12:50～13:10 (25名)  
※事前予約となりますので、ご希望の方は下記の電話番号までご連絡ください。尚、1部・2部のご希望は先着順とさせていただきます。

越谷コミュニティセンター・文化事業課  
☎048-985-1113

【お申込み】※電話予約のみ  
4月7日(日)～4月28日(日)  
《申込時間 9:00～17:45》  
※添釜終了後は、開場列にお並びいただきます。予めご了承ください。

「こしがや能 春の調べ」のチケットをお持ちの方が対象です。

お問い合わせ サンシティホール ☎048-985-1112

プレイガイド サンシティホール……………☎048-985-1112

こしがや能楽堂……………☎048-964-8700

東武よみうりチケットセンター…☎048-987-0553

アクセス ●東武スカイツリーライン越谷駅東口北側ロータリーより花田循環又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分  
●東武スカイツリーライン新越谷駅/JR武蔵野線南越谷駅北口ロータリーより花田行き又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分

◆チケットをお持ちの方は、公演当日、日本庭園「花田苑」に無料で入園できます。  
◆駐車場には限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共の交通機関をご利用ください。  
◆会場内は、飲食が出来ません。  
◆能楽堂の「能舞台」および「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。

主催：公益財団法人越谷市施設管理公社 共催：越谷市教育委員会 後援：越谷市

こしがや能

# 春の調べ

平成三十一年  
四月二十九日(月・祝)  
午後一時三十分開場 午後二時開演

おはなし 高梨 良一

番組

【仕舞】

屋島 古橋 美香

草子洗小町 渡邊 洋子

地謡

武田 崇史  
佐川 勝貴  
清水 義也  
高梨 万里

【舞囃子】

吉野天人 高梨 良一

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 小寺真佐人  
小鼓 鳥山 直也 笛 成田 寛人

地謡 由田 久子 佐川 勝貴  
高梨 万里 藤波 重孝  
金子 聡哉

【狂言】

墨塗 シテ(大名) 三宅 近成

アド(太郎冠者) 三宅 右矩  
小アド(女) 前田 晃一

後見 金田 弘明

休憩十五分

【能】

高砂 ワキ(阿蘇宮神友成) 大日方 寛

間(高砂ノ浦人) 金田 弘明

大鼓 大倉栄太郎 太鼓 小寺真佐人  
小鼓 鳥山 直也 笛 成田 寛人

後見 清水 義也  
高梨 良一

地謡 依田 明子 佐川 勝貴  
渡邊 洋子 藤波 重孝  
武田 崇史 浅見 重好  
高梨 万里 金子 聡哉

(終了予定 午後四時四十分)

## 演目紹介

### 狂言「墨塗(すみぬり)」

訴訟をすませ帰国する大名(シテ)が在京中になじんだ女のもとへ暇乞いに行く。女は別れを悲しんで泣く。実は茶碗の水で濡らしているのを太郎冠者が見つけ、水と墨をとりかえる。女の顔が真っ黒になったので、大名も女の本心を知り、恥をかかせようと、形見だと鏡を与える。墨のついた自分の顔を見て怒った女は、大名や太郎冠者にも墨を塗りつける。

### 能「高砂(たかさぎ)」

高砂の浦の春。上京の途中の阿蘇宮司友成は、名木・高砂ノ松の根方を掃き清める老人夫婦に出会う。和歌の徳と国家の安寧、高砂・住吉の両木合わせて「相生の松」のめでたい謂れを説く老人たちは、「われわれも播磨の高砂、摂津の住吉と、住家は別ながら長く契りを結んでいるのだ」と語る。この二人こそ相生の松の精。「住吉でお待ちしよう」と言い捨てた老人は、小船に乗って遙か沖に消える。浦人の新造船に乗って住吉に着いた友成は、月下の浜辺で住吉明神が天下泰平の夜神楽を舞う奇瑞「神舞」を目のあたりにする。

## 「こしがや能楽堂」案内図

